

令和6年1月吉日
会員各位
岐阜県理学療法士会
社会局 地域包括ケアシステム推進部

令和5年度 地域包括ケアシステム推進部主催
口腔・摂食嚥下リハビリテーション研修会 活動報告

平素は岐阜県理学療法士にかかわる様々な活動にご協力賜り、誠にありがとうございます。
1月21日に上記研修会を開催いたしましたので報告させていただきます。

感染対策の徹底及び会場面積より募集人数を最小限に設定したうえで対面研修会とし、12名の方に参加いただきました。(開催当日、前日体調不良の連絡あり当初は18名予定)

第一講義では近石病院 歯科口腔外科 森田達 歯科医師より「気づきから始まる！摂食嚥下障害への対応」と題した講義を行っていただきました。口腔機能における基本的な解剖、嚥下障害の基礎、そして実際の食事場면을“診る”ことで、気づきを専門職へつなげるポイントを指導いただき、受講者の先生方も講義中大きくうなづく姿やメモをとる姿などが印象的でした。また、対面研修だからこそできる実技においても、VE(嚥下内視鏡検査)を用いた実際の嚥下検査を行い、嚥下に対するイメージをさらに深めていただく内容となりました。

第二講義ではカムカムスワロー 蛭牟田誠 言語聴覚士より「摂食嚥下リハビリテーション～他職種より期待する事～」と題した講義を行っていただきました。第一講義では実際の機材を用いた嚥下評価を学習しましたが、臨床における摂食嚥下障害スクリーニング法の実技・訓練方法の考え方を指導いただき、受講者同士での実技を通じて、より理解を深めていきました。所属している施設に言語聴覚士が不在の先生方におかれましても明日からの臨床に役立つ内容となりました。

当部ではコロナ禍以降初めてオンライン講義から対面研修に切り替え研修会を開催しましたが、受講者同士の関わりが活発になり、地域包括ケアシステムの醍醐味であります“繋がり”の重要性を再認識することができました。今後も繋がりが構築できるような研修会を開催できるよう努力してまいります。



文責 鵜飼浩史